

今、何の病気が流行しているか！

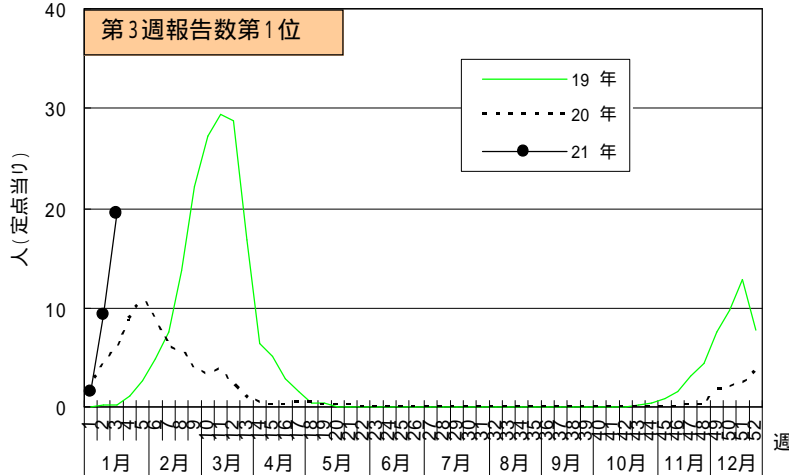


【感染症発生動向調査事業から】

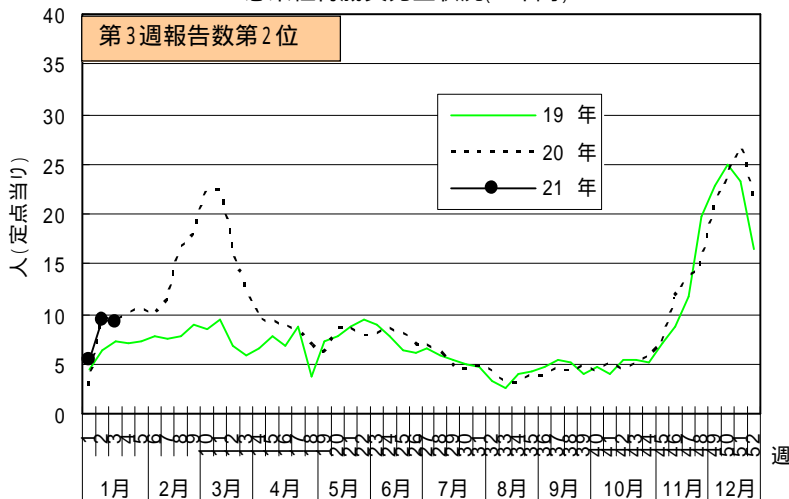
平成21年1月12日(月)～1月18日(日)〔平成21年第3週〕の感染症発生状況

第3週で報告数の多かった疾病は、1)インフルエンザ、2)感染性胃腸炎、3)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の順となっています。インフルエンザの報告数が急増し、前週の約2.1倍となり、流行発生注意報基準値である定点あたり10を超えました。学校等も始まっており、今後の流行拡大が予測されるため、発生動向には更なる注意が必要です。

インフルエンザ発生状況(3年間)



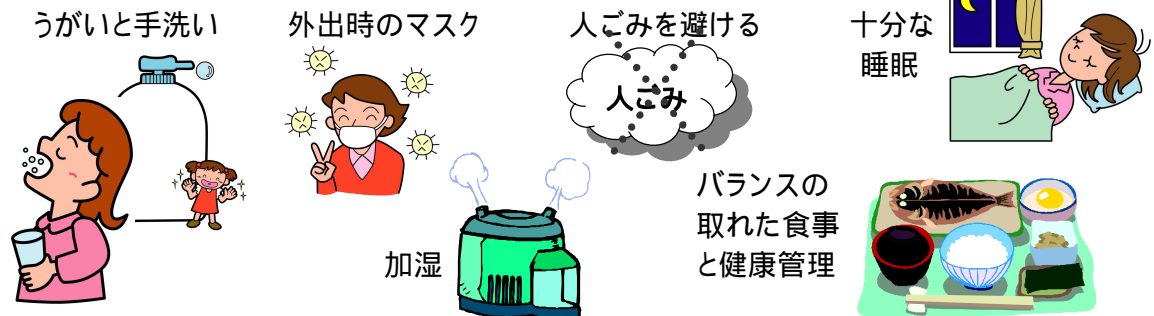
感染性胃腸炎発生状況(3年間)



インフルエンザ対策してますか？

第3週のインフルエンザの報告数は患者数1,054人、定点あたり19.89人となりました。前週と比較すると約2.1倍の報告数となります。過去10年間の同じ時期と比較すると、2番目に多い報告数です。1月19日には今シーズンの集団かぜ(インフルエンザを含む)による神奈川県の小・中学校等の欠席者の累計が1,000人を超えました。インフルエンザは患者さんの咳やくしゃみのしぶきに含まれるウイルスを吸い込むことによる飛沫感染が主な感染経路ですが、接触感染もあると考えられています。インフルエンザは『普通のかぜ』に比べて全身症状が強く、重症化したり、肺炎等の合併症を起こすこともあるため、罹ったかなと思ったら早めに医療機関を受診しましょう。

インフルエンザの予防法 基本の6か条



みんなで心がけよう！せきエチケット！！～病気をうつさない思いやり～

せきをするときは、人から離れ、口や鼻をティッシュやハンカチで押さえるようにして、ウイルス等が飛散しないように心がけましょう。(あとで手洗いも忘れずに！)

発行 川崎市健康福祉局疾病対策課・衛生研究所・各区保健福祉センター(保健所)